

真人の風

第44号(不定期)
(令和4年11月25日)
(全戸配布)

地域づくり44号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊 良平
真人ふれあい交流館 Tel: 86-3002

将来計画プラン策定に向けて

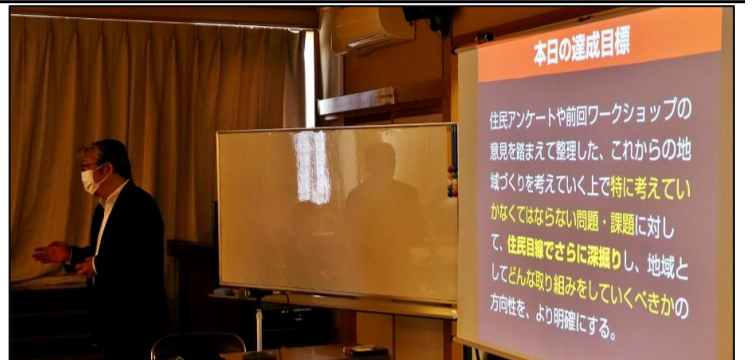
ワークショップを
開催しました

真人里地の課題解決へ

真人里地区の将来プラン策定に向け、10月23日(日)午後1時30分より真人ふれあい交流館にて、将来プラン策定に向けたワークショップを地域づくり専門家都岐沙羅・パートナーズセンター・齋藤王税事務所長を講師に開催し、22名の参加者を5班に分け、進行も発表もスタッフが行う形で話し合いに専念していただいていた開催しました。



当日は、住民アンケートの分析から把握した問題・課題について、3月26日に開催されたワークショップから5つの事項について深



本日の達成目標

住民アンケートや前回ワークショップの意見を踏まえて整理した、これからの地域づくりを考えていく上で特に考えていかなければならない問題・課題に対して、住民目線でさらに深掘りし、地域としてどんな取り組みをしていくべきかの方向性を、より明確にする。

を見せ進められました。特に女性の参加は年代別にバランスが取れていましたので、後半の班からは分野別に課題の深堀からアイデア出しをしていただきました。運営も含めて反省すべきは、50代以下の男性の出席者が得られなかったことから、運営におけるリサーチも含めて更なる努力をしていきたいと考えられています。今後とも皆様のご協力とお力を貸していただきますようにお願いします。



掘を行い、更に取り組みへのアイデアを進めていただきました。イベント月などで参加は少なくなりましたが、参加者の意識は高話し合いは盛り上がり

今回のワークショップでの話し合いで深掘りした「商店が無くなったの買物」も、移動購買車の事業者側の視点も含めた新たな仕組みづくりを考え、利便性を高めた取組みと利用促進が必要とされました。

また、「集まる機会が少なくなっている」について、郷土料理などの料理教室を地域のお姑さんから教わり交流する。(ほかのお姑さんからは、優しく丁寧に教わるのが可能となる。(笑))。そして、料理は多めに作って、高齢者への食事会や一人世帯への配食を行い、参加者・スタッフの人数も増やしながら定期的な開催を行う。このため、アンケートの実施により何をしたいのか?何をしたいかの把握が必要とされる。

高齢者の困りごとでも色々程度も含めてありますが、真人地域では隣近所も含めた方からの支え合いにより行われていることも多々あり、上手に行っていることもありますが、高齢者の方からは遠慮もあったり、買物では自分で見て購入したいなどの声も聞かれます。

移動支援の車を走らせれば解決と言うことにはなりませんので、日用品なら町に出かけたときに多めに買ってきてバザーなどにより売ってあげるとか、スーパーと連携し、地域拠点で販売や配達ができるのかなど、「一つのことを行うだけでなく+@の工夫が必要」と講師からもアドバイスもいただきました。

今後、将来プランを策定してまいります。可能な事柄へは並行して小さな実験・実証を進めていきたいと考えていますので、住民皆さまのご協力や声をお聞かせください。

地域農業の課題解決に

11月9日(水)新発田市研修

将来プランの策定のため、ビレッジプラン策定委員会では、組織化や関連事業への取り組みを進める先進事例への視察研修で、8月29日には上越市清里区の一般社団法人榎池農業振興会で地域の農業法人についての優良事例研修に行ってきました。今回は、研修の第2弾として新発田地区で真人里地と同様にビレッジプランを進めている一年先輩の「新発田市菅谷地区」が、将来プラン策定後に実践している組織化等への取り組みに対する現状や農業に関する事業への取り組みを事例研修として視察を行ってきました。



【新発田市菅谷地区 下中山クイントレット】

菅谷地区23集落内の旧下中山小学校区の5集落での取り組みで、①営農継続法人化、②鳥獣対策、③地域活性化地域資源の活用・廃校利用した女性等の活動拠点を重点取組として活動を始めています。

地域の基幹的農業者は241人、専業農家は10人弱で法人化に向けた話し合いや取組をJA北越後と密に連携して取組を行っているところです。

具体的には「下中山クイントレット」

を組織し、三つ(重点取組のワーキングチームを設置し、地域が目指す10年後の姿に向けた本格的な取組みを進めています。これらのプラン策定や初期の活動を今後の参考として進めていきたいと考えています。

【活性化グループ ABODE菅谷】

菅谷地区の出身、あるいは嫁いできた女性達を中心となって立ち上げた、地域活性化プロジェクトチームが「ABODE(あぼで)菅谷」です。

「菅谷は自然があつていい所だよね」でなく、「菅谷に住んでみたい」と言ってもらえるようにしたい、との思いで自発的に活動を進め、ママ友などから輪が広がり、現在15名の組織になりました。

廃校を活用したマルシェの開催(集客五百人)や菅谷リングを活用したシールドル(お酒)の販売を今年から始めたほか、里芋の商品開発に取り組んでいます。

仕事や主婦などの事情から会員全員が集まるのが少ない中、Zoomを活用した会議などの工夫をしています。今後どうなっていくか不安もあります。今後どうなるか地域の活性化を考えるきっかけとして立ち上がった取組みは参考となるものです。

私たちがめざすもの・こと
・地元の人が買物できて観光客にも足を運んでもらえる
・販売所を作りたい
・菅谷にあるイイモノで名産品を作りたい

Facebook 「ABODE 菅谷 - Kitaechigo」



祝 南小学校創立

十周年記念事業

11月19日(土)に小千谷市立南小学校(佐藤孝幸校長)の創立10周年記念式典(田中淳南小学校創立10周年記念事業実行委員長)が関係者を招いて執り行われました。

なお、記念祝賀会については、新型コロナウイルス感染症の状況から中止となりました。

田中淳実行委員長談

2004年新潟県中越地震の年に南部地域で小学校の統合問題が取りざたされ、その後2013年に南中学校と一体型校舎として開校しました。子供たちが幸せに安心して暮らせるまち。子供たちが「志」を果たしていける未来を作り上げていくため、地域で子供たちを育てるこの必要性が求められます。

南部地域においては学校統合をなす得たことにより、学校環境を通じて4地区の共通認識が深まり「南部地域町内会長連絡協議会」も設立され、今後の発展が期待されます。

最後に南小学校の益々の発展と皆様のご健勝を祈念し、本事業にご尽力いただきました関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。



祝 小千谷市立南小学校創立10周年記念式典 (画像は市より提供)

まっと秋の陣開催

真人町里地振興協議会

まっと秋の陣が10月30日(日)の午前に行われ、野菜の販売や実行委員会によるちまきなどの目玉商品のテイクアウトや餅つきによるお餅の無料配布が行われ、約二百名の来場がありました。

また、公民館真人分館によるゲームコーナーが設けられ、子供達や高齢者も楽しんでおられ、コロナ禍以前の賑やかな様な今後の運営に弾みをつけたイベントになりました。



恒例よせい踊り

遊舞会主催

まっと秋の陣終了後の午後1時から、真人ふれあい交流館駐車場を会場に、市内外のよせいチーム7団体が秋の日差しを浴びて舞を披露しました。



祝 W 受賞

農林水産大臣賞

日本農林漁業振興会会長賞

株式会社Mt・ファームわかち

豊かなむらびつくり

全国表彰事業

令和4年度「豊かなむらびつくり」全国表彰事業は農山漁村における「むらびつくり」の優良事例を表彰し、その業績を広く紹介することを通じて農山漁村におけるむらびつくりの全国的な展開に繋げていくため、農林水産祭参加表彰行事のむらびつくり部門として実施されており、真人町北部の株式会社Mt・ファームわかちが農林水産大臣賞の受賞団体として表彰されることになり、11月8日(火)に北陸農政局広坂合同庁舎で表彰されました。

令和4年度 第61回

農林水産祭天皇杯等の選賞

天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞は、過去1年間の農林水産祭参加表彰事業において、農林水産大臣賞を受賞した392点の中から決定されるものです。各賞は、農産・畜産部門、園芸部門、畜産部門、林産部門、水産部門、多角化経営部門、むらびつくり部門の7部門に授与されるものです。また、女性の活躍が著しい2点に対して、内閣総理大臣賞と日本農林漁業振興会会長賞が授与されます。株式会社Mt・ファームわかちはこの7部門の中の「むらびつくり」部門

門において、公益財団法人日本農林漁業振興会会長賞の授与が決まり、表彰は、勤労感謝の日の11月23日(水)に明治神宮会館で開催する農林水産祭式典において行われました。各受賞につきまして、誠にありがとうございます。益々のご繁栄をこ期待申し上げます。

左記のQRコードから受賞概要が見られます。(上段 豊かなむらびつくり 下段 農林水産祭 ※別添3、4参照)

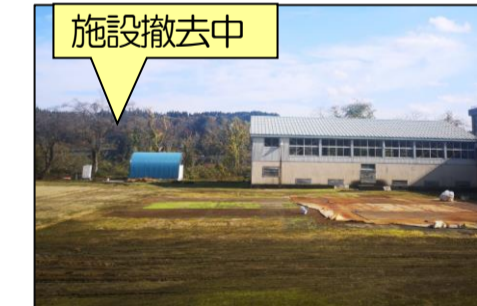


真人町XCSキー

大会継続を断念!!

真人町クロスカントリースキー大会実行委員会は、今後の大会運営について2年前より、議題の一つとして協議を進めてきた、「主要な部分を担っていた役員の高齢化に伴う組織の維持・運営については大会運営の困難などから、今後の大会継続を断念し、解散を決定しました。

なお、暖冬により2年間、新型コロナウイルス感染症対策から2年間の合わせた4年間で大会中止としてきており、最後に花を咲かせられなかったことは残念なことでありました。ご協力いただきました関係者、町内の皆様



施設撤去中 (感謝が伝えられました。)

また、ご寄付をいただきました経費等につきましては、プレハブ施設等の撤去に使用させていただきます。事務用品等につきましては真人里地振興協議会へ寄付いただきましたのでご報告させていただきます。これまでの関係者のご尽力に感謝申し上げます。

【遊水地説明会(上沢)】

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所は、遊水地の事業実施に伴う調査、測量業務を進めてまいりましたが、今回計画する遊水地以外の工事用道路等に係る区域等の測量業務において、関係者への説明が不十分との申し入れにより、10月11日(木)午後7時より上沢地区を対象とした住民説明会が開催されました。今後は、重畳車道の運搬計画など、遊水地以外に関する事項などによる地域への問題や課題もあり、計画地の関係者で構成する対策委員の拡充と、必要な時期での丁寧な説明会の開催が必要と感



遊水地以外に関する事項などによる地域への問題や課題もあり、計画地の関係者で構成する対策委員の拡充と、必要な時期での丁寧な説明会の開催が必要と感

【11月15日南部地区除雪会議】

真人ふれあい交流館で今冬の除雪会議が開催され、県、市担当者から説明がありました。除雪のルールを守りながら協力し、支援を必要とする高齢者等を支えていきたいと思います。

【編集後記】紙面の都合で省略しました(渡邊)